

# No.137

みんなで進めよう  
茨城農業改革

## 坂東地域アグリ通信

平成28年11月21日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

### さしま茶T-1グランプリが開催されました

10月24日(日)、境町の県立さしま少年自然の家において、さしま茶T-1グランプリが開催されました。同グランプリは、地域の将来を担う子供たちに日本の文化「お茶」を知ってもらい、地場産品「さしま茶」への関心を高めてもらおうと、さしま茶協会が中心となり、関係機関連携のもと2009年から開催されています。

当日は、坂東市や境町、古河市など近隣の小学生83名が参加し、お茶の淹れ方や知識を競いました。さらに参加者は、審査員でもある日本茶インストラクターから美味しい飲み方のアドバイスを受けるなど、地元「さしま茶」の魅力を体感していました。

参加した子供たちは、「家族や友達と一緒に何回も淹れ方の練習をした。家に帰って家族にお茶を淹れてあげたい。」「改めて、さしま茶のおいしさが分かった。」と笑顔で話していました。普及センターでは今後も地域の特色ある農業や産地が取り組む食育活動を支援していきます。



### 女性農業士会坂東支部が食育活動を実施しました

11月8日(火)、古河市三和農村環境改善センターにおいて、女性農業士会坂東支部が、「Dreamアグリカルチャー2016」を開催しました。本活動は女性農業士が、地域の子育て世代を中心とした若手女性農業者との交流、そして地元農産物の美味しさの体感を目的に毎年開催している食育講座です。



講座では参加者が、12名の女性農業士の指導を受けながら「麩」をテーマとした野菜巻き鳥ハムをはじめ地元野菜を使った6品を調理し、試食を全員で行いました。調理から試食まで参加者同士、会話が弾み大変有意義な交流が図られました。このことは、主催者、参加者を対象としたアンケート結果(感想)、「充実した交流ができて楽しかった(双方)」や「同じ立場のお嫁さんと会えて楽しかった(参加者)」、「年々、参加者が増えており後継者が育っていることが実感できうれしい(主催者)」からも、伺えました。

坂東地域普及センター管内は県内で最も女性農業士の方が多く、活発かつ充実した活動を展開しています。当普及センターはこれからも連携を強化し、積極的に支援していきます。

## 岩井4Hクラブが将門まつりで直売活動を行いました

11月13日(日)、坂東市で行われた将門まつりにおいて、市の岩井4Hクラブが野菜の直売活動を行いました。同まつりは昭和47年から毎年華やかに開催され、今年は県内外から約6万人の方が訪れました。4Hクラブでは、自分たちのつくった野菜を通じて地元野菜の美味しさや魅力を知ってもらおうと、まつりのメイン「将門ハーフマラソン」に参加した5,000名のランナーを中心に活動PRチラシを配布しました。

当日は天候に恵まれ、またPRの効果もあり、たくさんの来場者が新鮮な野菜を購入し、用意した600パックの野菜は開始後4時間で完売しました。野菜を手にした方からは、「毎年この直売活動を楽しみにしている。地元の新鮮な野菜は美味しい。」、「岩井がネギやレタスの大産地だと初めて知った。」との声が聞かれました。

普及センターではこれからも、若手後継者自らの活動と地域の特色ある農業を支援していきます。



### 水稲農家の方へ:イネ縞葉枯病を防除しましょう!!



☆管内でイネ縞葉枯病の被害が拡大しています!! ☆

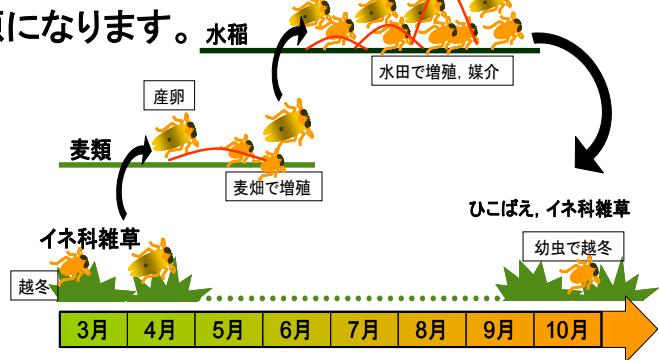
イネ縞葉枯病は、ヒメビウンカが媒介するウイルス病です。ヒメビウンカは水田の刈り株(ひこばえ)や畦畔雑草で越冬します。冬の間ヒメビウンカの防除を行いましょう。

※越冬したヒメビウンカが来年の伝染源になります。

※ひこばえは今年中にすき込みましょう!

※畦畔の雑草を刈り取りましょう!

地域が一体となり、防除に取り組む事が重要です!



茨城県農業総合センター 農業研究所 病虫研究室作成

## 12月 土壌診断実施日のお知らせ



土づくり推進のため土壌診断を受け付けています。個人等の農家の方が対象です。

12月13日(火)

12月27日(火)

※実施日は変更になることがありますので、ご了承ください。また、結果のご連絡には数日かかる予定です。

## 編集後記

本格的な冬到来ですね。今年は秋を感じる期間が短かったように感じます。インフルエンザも流行っているようなので、皆様もお気をつけください。(荒井)



## 農作業事故に注意しましょう!

普段行っている作業の中にも危険が潜んでいます。もう一度、作業工程を点検してみましょう。

